

船舶事故調査報告書

平成28年6月23日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	転覆
発生日時	平成28年3月12日 09時50分ごろ
発生場所	静岡県熱海市中野海水浴場北方沖 伊豆網代港北防波堤灯台から真方位281°1,250m付近 (概位 北緯35°03.1′ 東経139°04.5′)
事故の概要	プレジャーボートTAGA3は、漂泊中、転覆した。 TAGA3は、船外機に濡損を生じた。
事故調査の経過	平成28年3月14日、調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート TAGA3、5トン未満（長さ2.71m）
船舶番号、船舶所有者等	241-17241静岡、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	船外機に濡損
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風速 約6m/s、視界 良好 海象：波高 約1.5m、潮汐 下げ潮の中央期
事故の経過	<p>本船は、船長が、釣り場を移動しようとして船外機を始動中、波が船尾から船内に打ち込んで水船状態になった。</p> <p>本船は、船長が、バケツを使用して排水作業を行ったが、船尾部ガンネル（船べり）が海面下となり、右舷側から転覆した。</p> <p>船長は、携帯電話で知人に海上保安庁への救助要請を依頼し、知人が同庁に通報した。</p> <p>船長は、転覆した本船の船底につかまっていたところを、同乗者は、本船の近くで漂流していたところを水難救済会の所属船にそれぞれ救助された。</p> <p>本船は、水難救済会の所属船により熱海市所在のマリーナにえい航された。</p> <p>本船の船尾乾舷は、約20～25cmであった。</p> <p>船長及び同乗者は救命胴衣を着用していた。</p>
分析	本船は、中野海水浴場北方沖において漂泊中、船尾から波が船内に打ち込み水船状態になったことから、船尾部ガンネルが海面下となって転覆したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、中野海水浴場北方沖において漂泊中、船尾から波が船内に打ち込み水船状態になったため、船尾部ガンネルが海面下となって転覆したことにより発生したものと考えられる。